

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	理事長 村城 正	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域で、最期まで安心して暮らし続けられるようサポートしていきます。 「あすなら 10 の基本ケア」に沿って、利用者が自分で出来ること、役割を見つけながら生きがいを持って普通の暮らしを継続できるようにケアしていきます。
事業所名	あすならホーム西の京	管理者	溝口 佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	3人	1人	人	21人	人	26人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報を共有し、話し合う機会を作っていくために、ミーティングを勤務表に組み込んで開催していく。	朝礼での情報共有が出来るようになり、朝礼不在者の為に変更事項ボード作成で確認をタイムリーに出来るよう工夫しました。	自己評価することの意義を理解し、学習しながら次回につなげる自己評価を再検討していかなければならない。	情報共有をしっかりと行い、対応方法の検討もスピーディに話し合いし、支援につなげる。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内だけでなく、周辺の清掃、整理整頓を定期的に行う。	事業所内では安全で快適な空間となるよう整理整頓は行っているが周辺まではもう少し努力が必要。	不快な臭いは感じない。日中施錠されてないのも良い。今の看板ではわかりにくい。	困りごとで気軽に立ち寄れるような看板等工夫・検討また日中施錠しないことも継続します。
C. 事業所と地域のかかわり	ランチ企画などの地域へのお知らせを強めていくために、送迎、訪問、地域行事へ利用者と参加する際にいつでもチラシを配布できるように準備する。	チラシ配布でランチ企画では参加者も増え、相談に来てくださる方も増え、今後も地域から必要とされる事業所を目指します。	良い活動をしている割にまだまだ認知度が低いのでアピールをどんどんしていく方が良い。	地域の行事に、これからも積極的に参加し地域との関わりを大切にしていきます。 民生委員・社会資源の情報収集と繋がりに努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の情報を、ランチ企画に参加して下さる地域住民、職員から収集し、利用者と一緒に参加していく。	地域の行事に利用者と共に参加し、たくさんの笑顔を頂き、地域活動参加の意義を再確認しました。脱水予防の見回り。	個々にあった外出の企画は年々介護度が進み大変だろうが継続してほしい。日常生活の大切な一場面である。	生き生きした豊かな表情が自然にこぼれる楽しい外出企画を今後も継続します。脱水予防、安否確認の見回りも継続します。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議への利用者家族の参加呼びかけを強め、具体的な要望を聞き、改善につなげていく。	多くのご家族、地域住民、現場スタッフの参加で意見交換の場となり、かかわりを深める機会となっています。	毎月15日は介護相談会、地域学習会等、地域の方や利用者の家族様参加できる企画をもっとアピールしたほうが良い。	運営推進会議に短時間職員も順に参加できるよう勤務調整する。短時間職員は地域に住んでいるため地域のニーズ、集約連携出来るので積極的に参加してもらう。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災訓練を家族、地域住民にも案内し、参加を呼びかける。	防災訓練を定期的に行っているが、しっかりした案内・参加の呼びかけがまだ不十分でした。	定期的に行っていることが家族には見えない。	防災訓練・非難訓練には多くの参加者を呼びかける。